

エレクトーン九州1位の栄光 新結成『STORM』

1月22日(土)エレクトーンステージ・スーパーライブ・アンサンブル九州大会が福岡市のZepp福岡で開催されました。

昨年も同大会で『金賞』を受賞した竹元篤志君(上住集落:大崎中2年)、西高寿紀君(高井田集落:宇都中3年)、佐藤慶法君(志布志中3年)に新メンバー上野恵大君(新地集落:大崎中2年)を加え、『STORM』を結成。

4人は、息の合った超高速4ビートジャズを演奏し、会場に感動のSTORM(嵐)を巻き起こしました。

多くの観客を魅了し、見事今年も『金賞』を受賞しました。

九州1位の栄光を手にした彼らに今後更なる活躍を期待します。



▲左から竹元篤志君(上住集落:大崎中2年)
上野恵大君(新地集落:大崎中2年)
西高寿紀君(高井田集落:宇都中3年)
佐藤慶法君(志布志中3年)

乳がん早期発見へ検診を！ 『ピンクリボンin鹿屋』

2月5日(土)、鹿屋市文化会館においてNPO法人ピンクリボンかごしま主催の『ピンクリボンin鹿屋』が開催されました。

乳がんセミナーでは、乳がんは、不治の病というイメージが強いが、検診により早期発見できれば手術も簡単ですみ、体への影響が少ないことなどを専門家が説明しました。また、乳がんは、がんのなかでも唯一自分で見つけられるがんでもあり、月に一度は自己検診をするように呼びかけられました。

タレントの山田邦子さんが『大丈夫だよ、がんばろう!』のテーマで講演を行い、自らの体験した検査から手術までの様子を、ユーモアたっぷりに話され、「泣いてもいい。でも、明日は笑いながら頑張ろう」と訴えました。



▲タレントの山田邦子さんが自身の体験をもとに、定期健診を呼びかけました。

こころの健康づくり！ 『人生あきらめたらあかん!』

2月26日(土)志布志市文化会館において、『こころの健康づくり(自殺対策講演会)』が開催され、曾於地域内外から約300名の参加者が集まりました。

講演会では特別講演『人生あきらめたらあかん』の演題でゴスペル歌手の市岡裕子さんの講演もありました。

市岡さんは、兵庫県生まれ。吉本新喜劇座長として人気を博した、故岡八郎さんの長女。母の自殺、弟の死、父のアルコール依存症などの苦難を負うなか、ニューヨークのハーレムでゴスペル音楽に出会い、なぐさめられゴスペルシンガーの道に進んだそうです。壮絶な葛藤の末に手にした父娘の絆。絶望からの再起をトークやゴスペルソングも交えての講演が行われました。



▲ゴスペル歌手の市岡裕子さん
『人生あきらめたらあかん』と訴えました。